

主催 栃木県立美術館  
 後援 朝日新聞宇都宮総局  
 宇都宮コミュニティFM ミヤラジ  
 NHK宇都宮放送局  
 エフエム栃木  
 産経新聞社宇都宮支局  
 下野新聞社  
 東京新聞宇都宮支局  
 とらぎテレビ

栃木放送

日本経済新聞社宇都宮支局

毎日新聞宇都宮支局

読売新聞宇都宮支局

開館時間 9時30分～

17時(入館は16時30分まで)

休館日 月曜日(ただし4月29日(月)、

5月6日(月)は祝日のため開館、

4月30日(火)、5月7日(火)

観覧料 一般1200(1000)円、

大高生600(500)円、

中・小学生以下無料

(内は20名以上の団体料金

無料日 6月8日(土)、6月9日(日)、

6月15日(土・県民の日)



# 高橋由一

2024

4.20 sat.



6.16 sun.

から

黒田清輝

明治洋画壇の世代交代劇



1. 高橋由一《山形市街図》1881-82年、山形県
2. 高橋由一《鮭図》1878年頃、山形美術館寄託
3. 黒田清輝《花野》1907-15年、東京国立博物館  
(画像出典: ColBase (<https://colbase.nich.go.jp/>))
4. 黒田清輝《婦人像(厨房)》1892年、東京藝術大学大学美術館

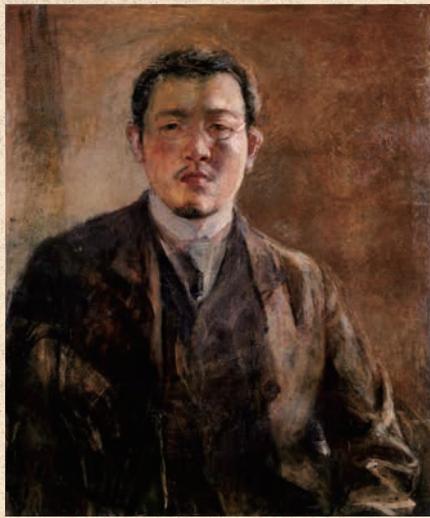
Generational change from TAKAHASHI Yuichi to KURODA Seiki

T 320-0043 栃木県宇都宮市桜4-2-7 tel 028-621-3566 <https://www.art.pref.tochigi.lg.jp/>

栃木県立美術館

Tochigi Prefectural Museum of Fine Arts

2024  
**4.20** sat. → **6.16** sun.  
 Generational change from TAKAHASHI Yuichi to KURODA Seiki



2 「紫派」と呼ばれた黒田の世代には、同じ明治洋画でありながら大きな断絶があるといえます。本展では、高橋由一と黒田清輝が活躍したそれぞれの時代を比較しながら、明治洋画壇で起きた重要な世代交代劇を検証します。

明治27年、明治時代の洋画壇を切り開き「近代洋画の父」と呼ばれる高橋由一が没しました。その前年の明治26年、フランスで洋画を学んだ黒田清輝が帰国し、「外光派」と呼ばれる新しい洋画を日本にもたらしました。日本の洋画界に大きな影響を与えた由一と黒田は、まるで交代劇を演じるかのように入れ替わったのです。幕末から明治初期に來日したバルビゾン派の系譜に連なる外国人画家らに油絵を学び「旧派」や「脂派」と呼ばれる画派となった由一の世代と、印象派や象徴主義の時代を迎えた欧米に留学して油絵を学び「新派」や



# 高橋由一



1. 原田直次郎《高橋由一像》1893年、東京藝術大学大学美術館 | 2. 久米桂一郎《黒田清輝肖像》制作年不詳、久米美術館 | 3. アントニオ・フォンタネージ《十月、牧場の夕べ》1860年、千葉県立美術館 | 4. 高橋由一《驟雨図》1877年頃、栃木県立美術館 | 5. チャールズ・ワーグマン《海岸風景》制作年不詳、栃木県立美術館 | 6. 黒田清輝《夏図習作（横たわる女）》1892年頃、宇都宮美術館



3. アントニオ・フォンタネージ《十月、牧場の夕べ》1860年、千葉県立美術館 | 4. 高橋由一《驟雨図》1877年頃、栃木県立美術館 | 5. チャールズ・ワーグマン《海岸風景》制作年不詳、栃木県立美術館 | 6. 黒田清輝《夏図習作（横たわる女）》1892年頃、宇都宮美術館

# から黒田清輝へ

## 栃木県立美術館 Tochigi Prefectural Museum of Fine Arts



### 明治洋画壇の世代交代劇

**[同時開催]**  
 コレクション展I 始まりの美術  
 2024年4月20日(土)～6月16日(日)

**[宇都宮美術館のご案内]**  
 イヴ・ネッツハマー  
 ささめく葉は空気の言問い  
 2024年3月10日(日)～5月12日(日)

**大川美術館コレクションによる  
 20世紀アートセレクション——  
 ビカソ、ベン・シャーンから  
 ポップ・アートまで**  
 2024年6月9日(日)～8月18日(日)  
 宇都宮市長岡町1077  
 tel 028-643-0100

**[交通案内]**  
 ○電車・バス＝JR東京駅から東北新幹線にて約50分・JR宇都宮駅(西口6番・7番乗場)、東武宇都宮駅から「関東バス作新学院・駒生行き」で約15分、「桜通十文字」バス停下車徒歩5分  
 ○自家用車＝東北自動車道鹿沼ICから約10km、約20分・北関東自動車道壬生ICから約13km、約25分

**関連イベント**  
**講演** 「明治洋画の変革  
 和製油画から日本洋画へ」  
 講師＝古田亮(東京藝術大学大学美術館教授)  
 期日＝5月12日(日)14:00～(開場13:30)  
 会場＝当館集会室 定員＝80名(先着順)  
 ※申込不要。当日の企画展観覧券が必要。

**担当学芸員によるギャラリー・トーク**  
 4月20日(土)15:30～、5月26日(日)14:00～、6月2日(日)14:00～  
 集合場所＝企画展示室入口  
 ※申込不要。当日の企画展観覧券が必要。

